

成績通知書の表記変更について

(2005年度以前入学者対象)

2006年度の前期成績発表時から、全学的に成績表記が統一され、成績通知書の表記は下記のとおり変更となります。

なお、成績証明書については就職活動などで既に提出している可能性も考慮し、表記変更は行わず、これまでどおり『優・良・可』の表記となります。

記

新表記 (2006年度から)	旧表記 (2005年度まで)	成績証明書 の表示	合否 判定	評価点	評価の割合		
					10% 以内	30% 程度	70% 程度
A+	秀 ('03年度以前は優)	優	合格	100～90	10% 以内	30% 程度	70% 程度
A	優			89～80			
B	良			79～70			
C	可	良		69～60	30% 程度		
F	不可	表示	59～45				
G		されない	44～0				
H		(注)	-----				
P	了	了	合格	-----	---	---	---
Q	未	表示され ない(注)	不合格	-----	---	---	---

(注)不合格科目は成績証明書に科目名自体が表示されません。

F 評価について

再試験・追試験の受験条件を満たした場合、これらの試験を受験することができます。

なお、他箇所設置科目については、これらの試験を実施しており、該当箇所が受験を認めた場合に限りです。また、F・Gの評価点は学部によって異なります。

H 評価について

試験(レポート)未受験を表します。通年科目・セメスター科目など、定期試験を2回実施する科目については、いずれか不受験の場合もH評価となります。

P・Q 評価について

通常の授業科目と異なり成果をもって評価を与える科目に使用します。

例：TOEFL-ITP・TOEIC-IP、研究指導、ボランティアなど。

評価の割合について

評価の割合については、学部により異なります。政治経済学部では原則として外国語など一部の科目を除き相対評価を行っており、評価の割合は概ね上記の通りです。

2005年度までの不合格科目について

2005年度までの不合格科目については、すべてF評価で統一しています。

以上